



平成 27 年 3 月 12 日
独立行政法人国立科学博物館

地球館 I 期（北側部分）展示 リニューアルオープン概要発表

国立科学博物館（館長 林良博）では、平成 27 年 7 月に地球館 I 期（北側部分：約 2,300 m²）展示をリニューアルオープンします。

国立科学博物館は、昨年度（平成 25 年度）に上野本館だけで 217 万人を超す来館者をお迎えしました。名実共に日本を代表する自然史・科学技術史に関する総合博物館として各種事業を推進しているところです。しかしながら、平成 11 年に公開した地球館 I 期（北側部分）展示については、オープン後 15 年が経過し最新の情報が提供できない状況でした。

そこで最新の学説を反映するとともに、我が国の主導的博物館として求められる様々な課題へ対応し、将来に向けて更に魅力的な展示内容にするために、昨年 9 月から改修工事を進めておりましたが、今年 7 月 14 日（火）に新しく生まれ変わり、リニューアルオープンする予定ですので、その概要と今後の予定をお知らせします。

なお、個別取材に関するお問い合わせについては、下記担当までご連絡くださるようお願いいたします。

【今後の予定】

5 月中旬：第二回目プレスリリース

（展示改修内容詳細、報道内覧会日程の事前お知らせ、ポスター・チラシ配布）

7 月初頭：第三回目プレスリリース（報道内覧会のご案内）

7 月 13 日（月）（予定）：報道内覧会・オープニングセレモニー

7 月 14 日（火）（予定）：一般公開開始

【広報担当連絡先】

独立行政法人 国立科学博物館

事業推進部広報・常設展示課 広報担当（吉野・土屋）

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL: 03-5814-9855 / FAX: 03-5814-9898

E-mail: shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP <http://www.kahaku.go.jp/>

展示改修の概要

■ 展示改修の基本方針

- (1) 当館の展示総合テーマ「人類と自然の共存をめざして」に基づき、生物多様性、自然と人の関わり、自然と科学技術との関わりについて最先端の科学的知見をふまえた新しい展示を行う。
- (2) 子どもから専門家まで、多様な人々が先端的な科学の世界を楽しむことができ、科博や科学との“対話”を育むことができる場を創出。

■ 展示改修の範囲

地球館 I 期（北側部分） 地上 1～3 階、地下 1 階、地下 3 階 合計約 2,300 m²
(各フロアのテーマ、概要は別添フロア構成イメージのとおり)

■ 改修の主要ポイント

- ① 全館展示の導入部として宇宙史、生命史、人間史を俯瞰するナビゲーション展示（地球史ナビゲーター）を新設
- ② 変動する地球環境を探る最先端の科学技術の原理を、体験型装置や歴史的資料を通して分かりやすく解説するフロアを新設
- ③ 世代間の知の循環を促進するための親子のコミュニケーションを目的とした展示フロアの新設
- ④ 最新の学説を反映した恐竜標本、映像解説の入れ替え
- ⑤ 日本のノーベル賞受賞者（自然科学系）を一堂に紹介する展示コーナーの新設

地球館 I 期展示改修について

改修後のフロア構成イメージ

I 期部分 改修後のテーマと改修ポイント

